

Chœur Rechant



クール・ルシャン
第6回
演奏会

2005年3月21日 (月・祝日)

タワーホール船堀 (大ホール)

Greeting

ごあいさつ

代表 井桁嘉一

本日はお忙しいところ、ご来場いただきましてまことに有り難うございます。クール・ルシャンのルシャンとは「繰り返し歌」と言う意味です。練習とはまさに繰り返し。市川で練習している合唱団ですが、埼玉、神奈川、東京、遠くから通って来る人も多く、年齢もさまざま、仕事もさまざまです。仕事の忙しい盛りの人たち、家庭の忙しい盛りの人たちですが、練習には、それぞれの無理を無理と思わずに来ます。曲は簡単ではないし、練習回数も多いとはいえないので、練習を一回休むと浦島太郎状態。でも、この合唱団で、音楽をしたという気持ちをもって、みな集まっています。合唱団の練習後に付きものの飲み会もなかなかできないけれど、アフターコーラスより歌うことを楽しみに来ている、そんな合唱団です。今日は音楽に対する一人一人の熱い思いをお届けすることができれば幸いです。

Profile

指揮 大場 点

1987年千葉大学大学院理学研究科修了。1982年より千葉大学合唱団学生指揮者、1987年よりコーロ・カロス団内指揮者を務め、その間栗山文昭氏の下で研鑽を積む。1998年にクール・ルシャンを創設し指揮者に就任、現在に至る。指揮活動の一方、合唱編曲を独学にて学び、数々の器楽作品や歌謡曲などを合唱用に編曲している。

ピアノ 原田玲奈

3歳よりピアノを始める。国立音楽大学卒業。ピアノを麻生真紀、鶴養栄子の各氏に、伴奏法、コレペティトゥアを森島英子氏に師事。サロンコンサートを始め、演奏会に多数出演。レパートリーは、クラシックのみならず、ポピュラー、現代曲とジャンルは幅広い。現在、声楽・オペラ・合唱・器楽等の伴奏ピアニストとして意欲的に活動している。

ヴォイス・トレーナー 錦織まりあ (メゾソプラノ)

1996年愛知県芸術大学音楽学部声楽学科首席卒業、桑原賞受賞。同校主催卒業演奏会、読売新人演奏会出演。在学中よりオペラや宗教曲等の演奏会に数多く出演する。卒業後はドイツのナンブルグ教会、ワルシャワTVラジオホールなど海外に於いても活躍し好評を得ている。また、森昌彦氏のもとでフスラーの理論に基づいた発声法を学び、現在では多数の声楽家や合唱団のヴォイス・トレーナーとしても活躍中。

クール・ルシャン

1998年に指揮者大場点のもとに創設し、千葉県市川市を拠点として活動をしている。レパートリーはルネッサンス作品から現代作品、そして指揮者大場点の編曲作品にいたるまで幅広く、目標は高く活動は活発にと、昨年は合唱コンクール千葉県大会、千葉県合唱祭、市川市民合唱祭などに参加し発表の場を広げている。

Menu

I Tomas Luis de Victoria (1548-1611) ビクトリア
Tenebrae Responsories 聖週間の応唱集より
1. Amicus meus 友は接物の合図で私を裏切った
10. Tradiderunt me 彼らは私を邪悪な者の手へ
12. Caligaverunt oculi mei 私の目は涙で包まれた

II Pablo Casals (1876-1973) カザルス
O vos omnes すべて道行く人よ
Ramiro Real (1969-) レアル
Domine Deus 神なる主よ
Javier Busto (1949-) ブスト
O sacrum convivium 聖なる宴よ

III ハイブリッド昭和歌謡曲撰
恋のフーガ 作詞：なかにし礼 / 作曲：すぎやまこういち
潮来笠 作詞：佐伯孝夫 / 作曲：吉田 正
お祭りマンボ 作詞：原 六郎 / 作曲：原 六郎
編曲：大場 点

Intermission

IV 林光 (1931-) / もどってきた日付 より
動物園 (1月) / 暗い晩 (4月) / 四人の将軍 (7月)
ピアノ独奏 原田玲奈

V 林光 (1931-) / 木のうた 混声合唱とピアノのための
木島 始 詩

1. きこえるかしら だれかが 時を……
2. きこえるかしら だれかが 鳥を……
3. 地のなかから 吸いとられたものは……
4. 木にぶらさがる実は……
5. ひとつぶの種から……
6. いちど根づいた木は……
7. 夜 粉雪が……
8. 雪がつもると……
9. ひとびとが 雪の中を……
10. ひとびとは ふしぎを……
11. 雪がきえると……
12. いねむりしている姿ののかな……
13. 卵のなかに……
14. 大きな すばらしい木に……
15. きこえたかしら……

ピアノ 原田玲奈

Note 1

I&II スペイン宗教曲集 16世紀から20世紀

ローマでバレストリーナらに音楽の教えを受けたビクトリアは、1580年代のなかばにスペインに戻り、マドリッドのデスカルサス・レアル修道院の司祭および楽長として活躍した。「聖週間の応唱集」と呼ばれる18曲の応唱（レスボンソリウム）は、1585年にローマで出版された「聖週間聖務曲集」の中に含まれる、全18曲よりなる曲集である。聖週間とは、教会歴で復活祭に先立つ1週間のことを言い、信徒たちがキリストの受難をいたみ、悔悟にくれるための週間である。

ビクトリアの音楽は、伝統的なブランドル楽派の通模倣様式（全声部が同一のモチーフを模倣する形式）を基本としながらも、歌詞との密接な結びつきを表現するために不協和音やホモフォニック手法を大胆に用いて、情熱的なドラマ展開を図っていることが特徴である。キリストの受難を描いたこの作品は、そうした彼の手法が存分に生かされており、ユダの裏切りによって十字架に向かうキリストの心情が、時には狂気にも近い感情の高揚を伴ってせつせつと綴られている。

ビクトリア以降、政治的および軍事的な衰退から低迷したスペインの音楽は、20世紀初頭から国民楽派の作曲家たちの活躍によって隆盛を取り戻すが、他のヨーロッパ各国に見られるような、いわゆる現代的要素を含んだ合唱曲は多くは生み出されなかった。今回取り上げた3曲も、和声的で比較的シンプルな構造をとっている。しかしながら、親しみやすい音色の中には敬虔な宗教心が満ちあふれている。

カザルスはスペインが生んだ20世紀最大のチェリストであり、バッハのチェロ組曲など数々の歴史的名演奏を残した。また、スペイン・フランコ政権への抗議活動や自作オラトリオの演奏を通じた世界平和キャンペーンなど、音楽活動によって平和運動に大きく貢献した人でもある。彼は無伴奏合唱による宗教作品を数曲作曲しており、**O vos omnes**はそのひとつで1942年の作である。男声4部合唱から始まる静かな祈りの言葉が、時として激しい感情の高まりとなって沸き立ち、まさにスペイン的な熱情を垣間見ることができる。

バリアドリッドに生まれたレアルは、当地のコンセルパトワールで指揮法・音楽理論を学んだ。その後、室内合唱団と室内オーケストラの指揮者として活躍、それらのための作品を多く生み出している。**Domine Deus**は1993年に作曲された彼の初期の作品。バロック的な小品で、前半は器楽的な小フーガ、後半はバス・パートを通奏低音的に用いたホモフォニック手法で書かれている。

プストはバスク地方のオンダリビアの出身で、バリアドリッド大学で医学を修め、独学で音楽を学んだ。1971年に合唱団を組織、ヨーロッパ各地のコンクールで1位を獲得するなど、合唱指揮者として目ざましい活躍をしている一方、多くの合唱作品を世に送り出している。**O sacrum convivium**は、1993年に作曲された。独特の和声進行が神秘的な表現を担い、中間部に印象的な男声のリズムパターンをはさんだ後、**sacrum**（聖なる）の一語に祈りが集約されて感動的に曲が閉じられる。

Note 2

III ハイブリッド昭和歌謡曲撰

大場点 編曲

ハイブリッドは、「混成物」を意味する。今回演奏する3曲は、他のまったく無関係な曲を引用して混成物を形成し、異種同時出現の不安定性による笑いを追求した冗談音楽である。「恋のフーガ」はザ・ビーナッツの代表曲で、モーツァルト作曲レクイエムのキリエが引用されている。「潮来笠」は橋幸夫のヒット曲で、組曲「男の四季」第1曲としてルシヤンの第3・4回演奏会で演奏されている。引用されているのは、ヴィヴァルディ作曲『春』である。「お祭りマンボ」は美空ひばりが歌った名曲。「お祭り」で共通するストラヴィンスキーの「春の祭典」が用いられている。

IV 林光「もどってきた日付」より

芝居やオペラや政治集会のために書かれた、自作ソングにもとづくプレリユード（前奏曲）集。

1月 動物園…『ザ・ショー』の劇中歌（佐藤信・詞）。動物園を舞台に、生命の誕生・永眠をうたっている。一つ一つの生をそれぞれの動物に灯し、生けるものの誕生の尊さ、命のはかなさを表現している。

4月 暗い晩…プレヒトの劇「セチュアンの善人」で歌われている。人間は、みじめさに面とむかうと、ほんのちょっとしたことがきっかけで死をえらんでしまう。だから、そんなきっかけになりそうな暗い晩はこの国にないほうがいい、というのが歌の内容。

7月 四人の將軍…オペラ「白墨の輪」で歌われている。4人の將軍がイランを攻めたが、ドジばかり踏んで失敗する、という1番に対して、2番では見事な作戦と勇氣とて勝利をおさめ、たたえられる。

原田玲奈 記

V 林光「木のうた 混声合唱とピアノのための」

ハンガリー生まれの画家ジョールジュ・レホツキーの絵と、木島始の詩による絵本「木のうた」に触発された作曲者が、木島始の詩をそのままテキストとして作曲した曲集。NHK大阪放送局による委嘱作品で、1980年に山田一雄指揮 大阪放送合唱団によって放送初演された。

自然のひとめぐりをテーマとして、木を中心とした季節の移り変わりとそれに関わる人々の暮らしが語られていく。温もりと優しさに満ちた詩はそのまま曲の中に息づいて、聴く者の心を暖かさで包んでくれるようだ。第1曲と終曲、第3曲と第14曲が対応する対称性によって全体が「ひとめぐり」を表す構成をとり、随所に用いられるユニゾンが印象的な効果を上げている。また、合唱と対等な関係で書かれたピアノ・パートは、時の流れ、鳥の声、舞い落ちる雪などを暗示し、詩のイメージを一層明晰なものにする役割を担っている。

Member

ソプラノ	井桁 由美子 福田 浩子	加瀬 典子 堀野 直美	佐藤 純子	豊崎 光子
アルト	稲葉 由美子 堀内 みずき	牛島 真紀 増田 佐智子	草場 澄江	佐々木 睦
テノール	井桁 嘉一 木内 博和	井手 一彦 草場 康裕	大槻 幸雄	川崎 将人
バス	天沼 透 増田 正樹	遠藤 剛	佐藤 正史	瀬戸口 満

Staff

舞台監督 山口 珠江

Information

団員募集中！

クール・ルシヤンでは団員を広く募集しています。年齢・パート・経験は全く問いません。一度、練習を見学にいっしょにしませんか。

練習日：第1・2・4土曜日の夜間 会費：月額2000円
練習場所：市川公民館、市川市文化会館、鬼高公民館、など
連絡先：電話 | 堀野 / e-mail rechant@mail.goo.ne.jp

今後の予定

2005年

6月11日（土）第67回MIKコンサート「日本の短詩をうたう」に出演予定、伊能美智子作曲 「現代学生百人一首」ほかを演奏します。
14：00開演 場所：市川市文化会館小ホール

11月19日（土）または20日（日）
市川市民合唱祭に参加予定です（曲目未定）。

2006年

6月に第7回演奏会を開催する予定です（日程・場所未定）。
本日演奏「恋のフーガ」を含む、ザ・ビーナッツ作品集を発表予定。